

高橋邦彦さん

聖火を繋いで叶うかつての夢

7月2日(金)、千葉市幕張メッセ駐車場で行われた東京2020オリンピック聖火リレーの点火セレモニーに、高橋邦彦さんが参加しました。香取市小野川で行われる予定だった聖火リレーは、新型コロナウイルスの影響により、点火セレモニーとなりましたが、無事聖火を繋げることが出来ました。参加した感想を高橋さんにお聞きしました。

プロフィール

◎高橋 邦彦

昭和62年4月生まれ。高部出身。元学生アスリート（陸上・走高跳）として聖火ランナーに選出
現役時代の主な成績 2002年全日本中学校陸上競技選手権大会1位、2005年第60回国民体育大会陸上競技少年共通1位

高橋さんにお聞きしました

聖火ランナーの志望動機

スポーツをやっていると、皆、大なり小なりオリンピックを意識すると思います。自分も学生の時は、選手としてオリンピックに出たいと思っていました。月日が経ち、やはりオリンピックに関わりたいという気持ちになり、聖火ランナーに立候補しました。

点火セレモニーの感想

聖火ランナーは大役だと思っているので、今回無事に聖火を繋ぐことができてホッとしています。

聖火トーチを持ってみて

とても綺麗だと思いました。思ったよりも重さがあり、ランナーとしてしっかり役目を果たさねばと、より一層気持ちは強くなりました。

オリンピック・パラリンピックに期待すること

コロナで世間は元気がありませんが、出場する選手の皆さんにはベストパフォーマンスをしてもらいたいんです。大会終了後に応援した皆が「選手すごかったね」「やってよかったね」となるのが嬉しいです。



▲現役時代の高橋さん

ボッチャを体験しよう！

ボッチャは、重度脳性まひ者や同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ボールを投げたり、転がしたりし



▲目標球にボールを近づけます

て、他のボールよりもいかにジャックボール（目標球）に近づけるかを競います。町公民館では、ボッチャボールを貸し出していますので、ぜひ体験してみてください。

町公民館では、ボッチャボールを貸し出していますので、ぜひ体験してみてください。

どなたでもできるスポーツです！
やってみましょう！



▲生涯学習係 伊井さん

問い合わせ
教育課 生涯学習係
☎ 86-1221

オリンピック・パラリンピック影の選手

ボランティア参加予定です！

ボランティアに参加予定の石毛克身さんに、意気込みをお聞きしました。

がんばります！



プロフィール

◎石毛 克身

昭和30年8月生まれ。

(鹿野戸)

元町職員。現在は、民生委員・児童委員として日々ボランティア活動に勤しむ。趣味は登山・ウルトラウォーク。

オリンピックでは、茨城カシマスタジアムで、フィールドキャスト（大会ボランティア）、シティキャスト（都市ボランティア）として活動します。フィールドキャストは、スタジアム内での大会運営のサポートをします。シティキャストは、スタジアム周辺での誘導・案内などをする予定でしたが、一般観客の受け入れが見送られ、活動は縮小されました。また、パラリンピックでは、オリンピックスタジアムでフィールドキャストとして活動します。

過去には、2002サッカーワールドカップや2019ラグビーワールドカップなどのボランティアをしてきました。海外の方とのコミュニケーションやふれあいがとても楽しく、今回もそういったおもてなしがしたいと思い、ボランティアとして参加することにしました。コロナ禍という状況もあり、活動が制限されることになりましたが、与えられた役割を精一杯頑張ろうと思います。

開催まで、オンラインでの研修やテストイベントで経験を積んできました。ぜひ両大会には、盛り上げてほしいと思っています。

注目種目

個人的には、陸上の審判をしていることもあり、陸上種目の日本選手の活躍を期待しています。

パラリンピック 聖火リレー 採火イベントを開催

千葉県では、8月18日(水)、パラリンピックの聖火の元となる「市町村の火」が「共生社会実現」の願いを込めて、県内すべての54市町村において採火されます。町でも「東庄の火」を採火します。

採火されたそれぞれの火を、市原スポーツレクパーク（市原市）で「千葉県の火」として一つに集火します。千葉県の火は、千葉市での聖火リレー後、開催都市の東京に向けて送り出されます。

問い合わせ 教育課 生涯学習係 ☎86-1221

聖火リレーを町長に報告

7月6日(火)、高橋さんは、岩田町長に聖火を無事繋げたことを報告しました。



▲使用したトーチを持つ町長と高橋さん

町長は「トーチキスで、聖火と想いを繋げられて安心いたしました」と嬉しそうに報告を聞いていました。